

## 事業報告書のよくある補正内容について

項目	項目名	補正内容	注意事項
— (注1)	金融機関名	①記載されていない。 ②取引している預金取扱金融機関名を記載している。	システムにて提出しようとする提出者の「商号」を忘れずに記載してください。
— (注2)	提出日	①記載されていない。 ②株主総会前の日付を記載している。	株主総会後でかつシステムにて提出しようとする日を忘れずに記載してください。
1(5)	当期の業務概要	金融商品取引業（又は業種ごと）の実績が記載されていない。	金融商品取引業の実績（二種業、助言業など複数の業登録を受けている場合には業種ごとの実績）を忘れずに記載してください。 <b>実績がない場合にもその旨の記載が必要</b> です。
1(5-2)	説明書類 (公衆縦覧書類)	選択されていない。	1又は2のセルを選択すると○を付けることができますので、いずれかを <b>必ず選択</b> してください（事業報告書の写しを使用するときは「2」に該当します。）。
1(6)	株主総会決議事項の要旨	昨事業年度の要旨から更新されていない。	事業報告書に記載される業務概要の報告日や計算書類の承認日が分かるように、更新してください。
1(8)	営業所の状況	合計欄が記載されていない。	特に本店のみの場合には合計欄への記載漏れが散見されますのでご注意ください。
1(15)⑥ 1(16)④	みなし有価証券一覧表	合計欄が記載されていない。	当該ファンドの計算期間中に新規に出資又は拠出を受けた分については、下段の括弧書に記載してください。
1(24)④ 1(25)④	内部管理の状況	記載されていない（助言・代理業を登録している場合）。	投資助言業務を行っている場合は(24)に、代理・媒介業務を行っている場合は(25)に記載してください。
2(1) 2(2) 2(3)	経理の状況	①基準時点が記載されていない又は前期の基準時点から更新されていない。 ②単位に誤りがある（1円単位等）。 ③小計と合計が一致しない。  ④計算書類間の金額が一致しない。  ⑤株主資本等変動計算書が記載されていない。	①当期の基準時点を忘れずに記載してください。  ②計算書類は千円単位で記載してください。 ③主に貸借対照表（B/S）の資産の部、負債の部の不一致が多いため、検証した上で、提出してください。 ④B/Sの純資産の部、損益計算書（P/L）の当期純損益、株主資本等変動計算書の各々の金額について、整合性を検証した上で、提出してください。 ⑤別シートになっているため記載漏れが散見されますのでご注意ください。

(注1) 金融庁業務支援統合システムを利用する場合、各ファイル内の左上部に記載箇所があります(紙媒体で提出する場合には該当する項目はありません。)

(注2) 事業報告書の最初のページの右上に記載箇所があります。